

秋風に吹かれそよそよと
コスモス祭

10/14
日

東三瓶フラワーバレーで「コスモス祭」が開催され、約5900人の来場者で賑わいました。
平成3年に第1回が開催されたコスモス祭も、今年で28回目。恒例のやまめのつかみ取りや、さつまいも掘り、モデル撮影会には多くの人が詰めかけ、町内の出店者がテントを並べる「うまいものコーナー」にも長蛇の列ができていました。
また、ステージでは、地元 飯南神楽団が「悪狐伝」などの神楽演舞で会場を盛り上げました。



飯南町のうまいものが並ぶテントには長蛇の列



モデル撮影会に参加の皆さん、モデルの「カノン」さんと一緒に



ピンクや白、60万本のコスモスが咲き誇る



「たか〜い!」高所作業車の乗車体験

県教育委員会表彰
教育功労者表彰を受賞

本間美智子さん(花栗は、昭和45年から現在に至るまで、町内の小学校や高校で、書道を指導し、児童生徒の書写の能力向上に大きく貢献されました。
また、地域の子どもたちや大人を対象とした書道教室を開催し、書道の楽しさを伝える機会をつくり、書道文化の担い手育成に努められました。
平成28年からは、(公財)独立書人団の審査会員を務めるなど、全国でも活躍されています。



本間美智子さん

みどりを守る児童画コンクール
藤原拓大さんが県知事賞受賞



藤原拓大さん

J A しまねが主催する、「みどりを守る児童画コンクール」で、頓原小学校の藤原拓大さん(6年)が最優秀賞の県知事賞を受賞しました。
コンクールは、地域の農業に関心を持ち、食の重要性や農業・農村が果たす役割への理解を深めてもらうと開催されています。
画用紙いっぱいの子牛を描いた藤原さんの絵が、県内123の小学校、784点の応募の中から選出されました。

銀座、京都など全国のAKOMEYA店舗で
「お福米」の販売始まる

10月20日(土)から、関東・関西など全国8店舗のAKOMEYAで、町内産の特別栽培米コシヒカリ、その名も「お福米」の販売が始まりました。
「お福米」は、お米を購入する人のニーズを知る(株)サザビーリーグ(小売業者)とライスブラザーズ(株)(卸業者、町の米の出荷量や流通について熟知している)JA、そして行政が連携して企画。
多くの来店者が販売ブースに立ち寄り、販売初日には売り切れ寸前となるほどの好評をいただきました。



町長みずからトップセールスを行いました



秋晴れの空に朱が映える
紅葉祭

11/3
土・祝
11/4
日

志津見のうぐいす茶屋周辺を会場に「紅葉祭」が開催されました。
平成16年から始まったもみじの植樹。現在は3千本を超えるもみじが植えられています。
植樹したもみじの手入れには、254名が来場。大きくなったねなどど当時を懐かしみ、赤・黄・みどりの色鮮やかなもみじが、来場者の目を楽しませていました。



多くの企業の皆さんにご参加いただきました

日本栄養士会
会長表彰を受賞



大上雅美さん

大上雅美さん(角井は、昭和41年、頓原町学校給食会の発足時から38年間にわたって、栄養士として、学校給食を通じて子どもたちの健やかな成長に尽力されました。また、退職後は、町内外で栄養指導を行うなど、長年にわたり、地域の健康づくりに取り組まれています。
大上さんは、「受賞は、地域や学校など、支えていただいた皆さんのおかげ。今後も、栄養や食事などを通して健康づくりを、皆さんに伝えていきたい」と話されました。



にぎわうテント



14年前に植えたもみじを親子で見上げる「大きくなったね」

また、企業CSR活動(社会貢献活動)としてもみじの植樹会場や周辺道路の清掃活動も実施。町内外から、26団体120名の参加がありました。